

公益財団法人日本刀文化振興協会

令和3年度事業計画

(令和3年12月1日～令和4年11月30日)

1. 公益目的事業（刀職者を対象とする事業）〈公1〉

① 第13回刀職者実技研修会

会期：令和4年8月26日(木)～28日(日)の3日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：5職種各6～8名計約35名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

② 日本刀に関わる人材育成技能研修事業（刀剣修復特殊技能研修事業）

（研磨・白鞘・白鞘・白銀・刀装具）※文化庁育成事業

会場（開催時期）：佐野美術館（10月17日（月）～19日（水）の3日間）

講師：予定5名 研修生：予定6名

③ 第12回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会、長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館

共催：信濃毎日新聞社ほか

部門：作刀、研磨、外装、押形

会期：令和4年6月11日(土)～8月28日(日) 坂城町鉄の展示館（長野県）

後援：関係省庁、長野県ほか（予定）

授賞：（特別賞）大臣賞、長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞ほか

内容：作刀・刀身彫刻、研磨、刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展示すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

作品受付 令和4年4月21日（木）～4月22日（金）

作品撮影 同 4月23日（土）～4月25日（月）

審査会 同 4月26日（火）～4月28日（木）

運営委員会 令和3年12月9日(木)

審査員選考委員会 令和3年12月

審査員会議 令和4年3月25日（金）

授賞式及び懇親会 同 6月11日(土) ※会期初日を予定

④ 明治天皇 110 年祭並びに明治天皇ご生誕 170 年記念【日本刀の匠展】

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会

会期：令和 4 年 10 月 22 日(土)～11 月 20 日(日) (予定)

展示会場：「明治神宮 宝物殿」 〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1

展示内容：第12回展入賞以上の上位作品を中心に展示（作刀・刀身彫刻作品、研磨作品、刀装作品（鐔・白銀・白鞘・柄巻・拵など）、押形作品。

建物・展示ケース共に国の重要文化財である「明治神宮 宝物殿」での展示に相応しい作品を集め、広く明治天皇と日本刀との繋がりなどを展示紹介し、国内外を問わず多くの方に日本刀文化を知ってもらう機会とする。

提案行事：開催期間中の土曜日または日曜日に開催（案）

- ・「公開奉納鍛錬」
- ・「著名な刀職者による日本刀に関する講演」
- ・「刀職技術公開」：研磨、柄巻、金工など

⑤ 第 16 回お守り刀展覧会（後援） 主催：全日本刀匠会

内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展観

後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

2. 公益目的事業（不特定一般向け事業）〈公2〉

① 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会

1) 公開鑑賞会

開催回数：（予定）年 3 回

会場：神田公園区民館ほか

内容：日本刀・刀装具・拵等を、会員に限らず一般にも公開し広く鑑賞して貰う鑑賞の作法を教授したり、作品の解説を通して日本刀文化の普及に努めることとする。併せて、必ず初心者を対象とした解説も加える。

新たにお刀手入れ方法教室も開催予定。

2) 特別鑑賞会（日本刀研究委員会鑑賞会）

開催回数：（予定）春秋各 1 回の年 2 回

会場：目白庭園「赤鳥庵」

内容：日本刀・刀装具・拵等ともに名品を揃え、より専門的な解説を行い目の肥えた刀剣ファンの研究意欲に応えられる内容とする。

3) 坂城町「日本刀講座」

春・秋の年 2 回開催。日本刀ワークショップ開催。

② 鍛錬道場見学会

関東・関西・中国地方

2. 収益事業

① 新作日本刀・刀装具等の製作販売及び保存・修理の受託〈収 1〉

新作刀、新作刀装具の製作販売。

長野市（松代文化施設管理事務所）、まちづくり坂城（坂城町）、その他、紹介及び一般の皆さまから直接の問い合わせによる研磨・修理受託。

② 「新作日本刀証明証」 発行事業〈収 2〉

以上